

事業番号	14 04 12	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交流教育推進事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	特別支援教育課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実			E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
		5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	S54 ~	

1 事業の概要

目指す姿	「共生社会」の実現にむけて、インクルーシブ教育の在り方について様々な方法が試されている今日に合わせて、「交流及び共同学習」の重要性が強調されている。その中で特別支援学校の児童生徒と幼・小・中高等学校等の児童生徒とが活動を共にし、「仲間意識を育む」「経験を広げる」等により、社会性や豊かな人間性を育むことを目指す。		
現状(予算編成時)	<input type="checkbox"/> 提携校との交流が減少している(H23延べ437回、H24延べ408)。 <input type="checkbox"/> 提携校以外の学校や居住地校、地域との交流及び共同学習が増加している(交流の総数 H23 延べ2,155回、H24延べ2,052回)。 <input type="checkbox"/> 交流提携校との交流において、各特別支援学校がボランティアを募集し実施しているが、その確保に苦戦している状況にある。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領 特別支援学校学習指導要領	
	県民との協働による実施:	検討中	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	○交流の総数 延べ回数2,100回 : H24年度実績(延べ2,052回)を引き上げ、交流の総数を延べ回数を2,100回にする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		
				H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	交流教育提携校との交流	直接	・各特別支援学校と幼・保・小中高等学校で交流提携を結び、継続的・計画的な交流を実施 活動例)同学年児童との遠足、文化祭への参加、調理活動、スキー教室、レクリエーション等	1,195	1,047	1,359
	提携校以外の相手先との交流	直接	・提携校以外の学校との交流(居住地校交流等) 同学年の通常の学級や特別支援学級での学習参加・交流 ・地域との交流の実施(地域の諸団体との交流) 季節行事への招待や参加(七夕会、花火大会、もちつき、焼き芋、地域のお祭り等)			
	地域ボランティアの活用	直接	・交流提携校との交流及び共同学習での地域ボランティアの活用 地域ボランティアの活用により、交流提携校との交流及び共同学習の充実を図った。	216	12	49
	合計			1,411	1,059	1,408

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,599	1,633	1,411	1,408
	補正予算				
	合計(A)	1,599	1,633	1,411	1,408
	一般財源	1,599	1,633	1,411	1,408
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	1,126	1,092	1,059	
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
概算人件費	概算人件費(C)	826	826	826	826
概算事業費(B(A)+C)		1,952	1,918	1,885	2,234

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
交流及び共同学習の延べ回数	1806回	2,100回	1908回	未達成	1,950回

目標に対する成果の状況	・学校間交流が予定していた回数より減ったため、目標数には及ばなかったが、一人一人の居住地にある学校との交流は増えたため、昨年度より延べ回数は多くなってきている。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・提携校との交流が行われることはもちろん、子どもたちの実態に応じて居住地校交流等、様々な学校との交流が行えるように円滑な運営を図る。 ・地域ボランティアを活用し、交流がさらに活発に行えるように体制を整える。
--------------------	---